

ご卒業  
おめでと〜うございます



日本工業大学後援会 会報

第

119号

発行 / 日本工業大学後援会

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四二一  
☎(0480)341-4111(代)  
令和五年三月十五日  
http://nikkouenkai.jp/

R100

## すべての皆様に感謝の気持ちを込めて



会長 安齋 義直 (R4東京)

が、きちんと活かされていることを感じております。

早春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より後援会活動にご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。後援会は昭和42年の設立から今年で56年を迎えます。半世紀を超える長い活動の歴史を持つ後援会活動の1ページに携わることができましたこと、あらためて感謝申し上げます。

後援会の一員として、今年度会長を拝命しました私自身も平成7年3月第25期の卒業生で、日本工業大学のOBでもあります。当時の思い出を振り返っても大きく整備されたキャンパスであったと懐かしく記憶していますが、それでも現在のキャンパスを眺めると、自然と調和しデジタル化の進んだ近代的な設備が整えられた姿を羨ましく思ってしまう。保護者として、また後援会の活動としての立場での視点から見ても、大学の計画的な設備投資や会員の皆様から頂いた貴重な会費の一部

特に新型コロナウイルスの感染拡大防止にあつては、特別事業として、食堂のアクリル板設置や体温測定器の設置などのコロナ対策が行われ、さらに生活において困難に直面した学生に対しては、他の大学にはない積極的な支援として「NIT100円朝食」など安全安心を第一とした迅速な対応がなされたのもひとえに、後援会の皆様のご理解の賜物と感謝しております。

さらに、各地より後援会活動を支えていただいております支部の皆様におかれましては、コロナで活動が制限される困難な状況の中、総会や地域別教育懇談会、交流会の開催、会報発行など会員相互の連携に意欲的に取り組んでいただき感謝申し上げます。

今後とも保護者の皆様との情報共有をはかりながら、学生の学習環境の整備、生活の質向上への願いをしっかりと受け止め、大学の目指す「実工学教育」のさらなる深化に向けた人材を育成するための取り組みを積極的に支援していきたいと思っております。

## 令和4年度地域別教育懇談会



個別面談の様子

3年ぶりに再開、大学を会場に全国集中開催  
新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度より中止となっていた地域別教育懇談会が3年ぶりに開催されました。コロナ禍のため、従来の支部会場での開催は見送り、初の試みとして大学を会場とした全国集中開催となりましたが、無事終了しました。

開催日は2日間。近県(埼玉・東京・神奈川)を

この春ご卒業される学生、保護者の皆様におかれましては、後援会の存在を末長く記憶に留めて頂ければ幸いです。  
最後に事務局として後援会を補助して下さっております教職員の皆様にも、心より感謝申し上げます。



10月16日には9支部のブースを設置

対象とした10月2日(日)は106名、近県以外を対象とした10月16日(日)は184名の会員が参加しました。近県以外の会員には、負担を軽減するため交通費を補助し、参加しやすいようにしました。(参加人数などの集計表は4頁に掲載)  
コロナ禍でリモート授業が続いた影響などもあり、成績や生活に関する心配事が山積していた会員さんの大学での様子を担当の先生

から直接聞くことができ、悩みが解消できて良かったという声をたくさんいただきました。  
支部会場へ出張する場合は、限られた人数の先生が面談を担当しますが、大学での開催となったことから、多数の先生の参加が可能となり、できる限り学生と日頃接している先生に面談してもらえた、というメリットが生まれました。

さらに、就職や奨学金などに関する相談は、よろず相談コーナーが設置され、専門の事務スタッフが対応してくれました。こちらも順番待ちになるほど好評でした。  
10月16日には、支部のブースを設け、支部会員同士あるいは他支部との交流の場として利用され、賑わいをみせました。

令和5年度の地域別教育懇談会は、コロナの収束に伴い、支部での開催を希望する場合は支部会場です。9月中旬下旬、近県は10月1日、それ以外は10月15日に大学会場にて昨年同様のスタイルで、というフレキシブルな対応での開催となる予定です。

一人でも多くの方が参加され、有意義な時間を共有できますことを願っております。

# 支部だより

## 個性豊かな

### 千葉県支部

千葉県支部長 高橋 誠

支部活動に参加してから5年弱になりますが、千葉県支部は学生が卒業してからも、その居心地の良さから継続参加してくださる役員の方々(相談役が非常に多いのが一番の特徴です。支部活動はそのパワーに助けられる形で、数多くのイベントを開催しています。舞浜の温泉での新年会、夏は千葉の漁港で簀立(すだて)体験、日帰り大島ツアー、先日は4支部合同で日工大のすぐお隣、東武動物公園を満喫してきました。

また、役員や相談役にキャラの立った方が多く、皆さん、それぞれ得意技を持っていて、それが支部活動に厚みを持たせています。支部活動を通じて得られる話、体験に刺激を受けるので、毎回、集まるのが楽しみです。とはいえ、活動の思い出として印象が強いのはやはりコロナ前の頃です。学外理事会で栗石に一泊二日で全国の理事が集結したときは学長を初め、多くの職員の方々、そして全国の理事の方々とお懇親を深めることができました。夜の宴会では一次会、二次会はもちろん「呑み専用部屋」で行った三次会までずっ

と盛り上がりつつありましたし、翌日は皆でハイキングをして汗を流し、小岩井牧場でBBQした後には酒の勢いでアーチェリーしてポロポロの結果になる。本当に楽しい2日間でした。

また、学内で実施した支部連絡協議会では、まじめな議論を行った後の後半戦が本当の楽しみ。各支部が持ち寄ったお土産品(大半がお酒かつまみ)を皆でわいわい言いながら飲食し、雑談に花を咲かせます。参加する方々それぞれが全く異なるバックボーンを持っているからこそ、話の幅も広がります。あつという間に時間が過ぎていきました。

こういった経験を、自分の中では成功体験として積み重ねており、コロナ禍の3年間は、これをどう再現できるか?という試みの連続でした。3年間の空白は大きく、当時のことを知っているメンバーは現役役員にはいなくなってしまうました。が、いつまでも「昔はよかった」ではなく、今が最高!と会員の皆様に思っていた



八幡平山頂にて (中央が高橋さん)

だけけるよう、新たな試みに取り組んでおりますので、今後とも支部活動への積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 感謝の出会い

### 後援会活動

前茨城県支部長 湯本 和子

振り返ること5年前:2018年の春3月、「新入生入学説明会ご案内」の通知を手に、息子と主人の3人で参加をさせて頂きました。建築の勉強をしないと、念願の工業大学に入学が出来る喜びと、親子して新しい環境に飛び込む緊張したドキドキ感。桜の花びら舞う入学式は今でも鮮明に覚えております。

本当に時の流れは早いものです。おかげさまで息子は、去年の春、無事大学を卒業して社会人となり、建築関係の職場に就職、早1年が経とうとしています。

入学説明会で感じたことは、どこまでも寄り添って下さる大学という事でした。在学生の保護者の皆さんが気さくにお声をかけてくれ、もちろん先生方の説明もとても助かりました。

後援会役員になり、県内で開催される会議は、大学での子供達の様子はもちろん、お互いの趣味や仕事、子供達の生活等々話は尽きずとつても楽しい時間に。子供の就職などに関しても、貴重な情報



大学キャンパスツアーでの集合写真

交換ができ本当に助かりました。

あるお母さんから息子さんの事で連絡を頂き、どうしても進級よりもっと何か違う生き方があると模索している:1時間2時間と電話で悩みを伺いました。その後心配で私から電話したりして、最終的には息子さんは退学をされたのですが、そのお母さんには、「人生まだまだ始まったばかり、息子さんを信じて見守ってね」と言葉

を添えました。支部長としての2年間、本当に残念なことにコロナでいろんな事が思うように活動出来ませんでした。それでもSNSで繋がりが、お互いの体調を気遣いながら、支部会を開催しました。



茨城県支部交流会にて (右から2番目が湯本さん)

また、近隣の支部長の皆さんと繋がるのができ、近況報告やそれぞれの県での情報を発信しあいました。合同での『大学キャンパスツアー』を開催出来たことは、大学後援会事務局の諸先生方をはじめ、関係する皆さんに感謝しかありませんでした。コロナ禍にあっても正しく恐れる!行動を起こすことで何かが動き出したな:と、実感。大変に貴重な1日となりました。現役員の皆さん!これからも新しい出会いを重ねながら絆を繋げて行ってください。卒業した私達は賛助会員として温かく皆さんのサポート役に徹して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



# 令和4年度地域別教育懇談会実施結果報告

【支部管轄】

No	県名	出席数	No	支部名	会員数	出席数	参加率	支部ブース
1	青森	6	1	青森	43	9	14.0%	有
2	秋田	2	2	秋田	6	2	33.3%	—
3	岩手	4	3	岩手	12	4	33.3%	—
4	山形	18	4	蔵王	46	21	45.7%	有
5	宮城	3						
6	福島	12	5	福島	76	12	15.8%	有
7	千葉	19	6	千葉	279	19	6.8%	有
8	茨城	27	7	茨城	352	27	7.7%	有
9	栃木	29	8	栃木	330	29	8.8%	有
10	群馬	13	9	群馬	292	13	4.5%	—
11	新潟	8	10	新潟	32	8	25.0%	—
12	長野	11	11	長野	87	11	12.6%	—
13	石川	2	12	北陸	18	8	44.4%	—
14	富山	5						
15	福井	1						
16	山梨	6	13	山梨	24	6	25.0%	有
17	静岡	8	14	静岡	18	8	44.4%	有
18	大阪	2	15	近畿	8	2	25.0%	—
19	鳥取	1	16	中国	14	2	14.3%	有
20	山口	1						
支部合計(A)		178			1,637	178	10.9%	9支部

【本部管轄】

県名	出席数	会員数	出席数	参加率	
埼玉	85	近畿	2,085	106	5.1%
東京	17				
神奈川	4				
北海道	0	北海道	5	0	0.0%
香川	1	四国	9	4	44.4%
愛媛	1				
徳島	2				
福岡	1	九州	9	1	11.1%
東海	0	東海	6	0	0.0%
沖縄	1	沖縄	3	1	33.3%
支部以外合計(B)	112		2,117	112	5.3%
総合計(A)+(B)	290		3,754	290	7.7%

【参考】大学側参加人数

開催日	教員数	職員数
10月2日	47	31
10月16日	69	35

**来年度も皆様の積極的なご参加をお待ちしています!!**

## 支部連絡協議会を開催

令和4年度 支部長名簿 ※敬称略

	支部名	学科学年	支部長名
1	青森県支部	R3	齊藤 誠
2	岩手県支部	M4	長野 賢一
3	秋田県支部	M卒	鎌田 純子
4	蔵王支部	M4	大宮 弘子
5	福島県支部	A4	栗野 寿男
6	茨城県支部	R3	関根 裕子
7	栃木県支部	A4	永盛 伴子
8	群馬県支部	I2	西田 忠宏
9	千葉県支部	E卒	高橋 誠
10	新潟県支部	A3	松本 里志
11	北陸支部	I3	大西 建樹
12	山梨県支部	E3	上村 千鶴
13	長野県支部	A3	友野 民望
14	静岡県支部	A3	横山 恵
15	近畿支部	I4	稲井 洋明
16	中国支部	S卒	黒飛 光子

※東海支部、沖縄県支部は活動休止中

令和4年11月19日(土)、大学14号館において支部長会を開催しました。成田学長臨席のもと全国から22名の役員・支部長らが出席。コロナ禍で停滞していた支部活動が再開できたことなどが報告され、意見交換をしました。久々に懇親会も開催され、互いに労をねぎらいながら交流を深めました。

後援会では会員の皆様にこの相談票を通じて、学生の成績・生活・就職等のご相談窓口を開いています。右の票(便箋、ハガキでも結構です)に相談内容をご記入の上、後援会事務局宛にご送付下さい。関係部署と連携して、可能な限り回答いたします。

相談票をご利用下さい

## 理事会開催報告



2月理事会の様子

令和4年11月20日(日)、令和5年2月19日(日)に、大学14号館において理事会を開催しました。理事会には毎回、成田学長にもご臨席いただき貴重なお話を伺っています。

両日とも全国から約50名の理事が出席し、地域別教育懇談会の実施報告及び来年度の開催方法、特別事業、予算執行状況、来年度予算案、理事銓衡などについて話し合いました。

## 令和5年度 特別事業について

理事会と同日に特別事業委員会が開催されました。令和5年度の特別事業は、学生アンケート調査で要望の多かった事項について検討が進められました。

一つ目として、授業に使うPCの充電場所が足りてないことから「本館教室PC充電用コンセント設置」、2つ目として、WEBでの就職面接が快適にできる場所を提供するため「WEB面談用個人ブース設置」の事業を実施することとし、令和5年度の総会に諮って正式に決定いたします。

## 相談票

学科学年	
学籍番号	
学 生 氏 名	
会 員 氏 名	
連絡先	TEL

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---